

一般廃棄物・産業廃棄物処理施設維持管理記録簿 [管理型] (平成 22年 12月度)

対象期間:平成 22年 12月 1日 ~ 平成 22年 12月 29日

埋立産業廃棄物の種類及び数量[規12条の7の3 7イ]

種 類		数 量 (単位)
一 般 廃 棄 物	焼却灰	2322.06 (t /月)
	ごみ	1146.82 (t /月)
	特定一般廃棄物(焼却灰)	(t /月)
	特定一般廃棄物(ごみ)	(t /月)
	一般廃棄物 小計	3468.88 (t /月)
産 業 廃 棄 物	燃え殻	740.52 (t /月)
	汚泥	480.57 (t /月)
	廃プラスチック	430.858 (t /月)
	廃プラスチック(非飛散性)	(t /月)
	紙くず	5.92 (t /月)
	木くず	(t /月)
	繊維くず	(t /月)
	動植物性残さ	(t /月)
	金属くず	6.35 (t /月)
	ガラス陶磁器くず	962.622 (t /月)
	ガラス陶磁器くず(非飛散性)	(t /月)
	鉱さい	149.92 (t /月)
	がれき類	672.57 (t /月)
	がれき類(非飛散性)	(t /月)
	動物の死体	(t /月)
	ばいじん	3.48 (t /月)
	処分するために処理したもの(13号廃棄物)	(t /月)
	廃石綿等(特別管理廃棄物)	(t /月)
	特定産業廃棄物(燃え殻)	(t /月)
	特定産業廃棄物(汚泥)	(t /月)
	特定産業廃棄物(ばいじん)	(t /月)
	産業廃棄物 小計	3452.81 (t /月)
合 計		6921.69 (t /月)

水質検査の実施状況と措置(年1回測定)[規12条の7の3 7ニ及びホ]

地下水等		放流水
採取日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
採取場所	下部調整池脇自噴井戸	シート下ドレーン水
分析結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果	計量証明の添付	計量証明の添付
異常の有無	有 ・ 無	有 ・ 無
必要な処置を講じた年月日とその内容(異常が認められた場合記入すること)		

水質検査の実施状況と措置(月1回測定)[規12条の7の3 7ニ及びホ]

地下水等		放流水
採取場所	下部調整池脇自噴井戸	シート下ドレーン水
採取日	平成 22年 12月 15日	平成 22年 12月 15日
分析結果が得られた日	平成 22年 12月 27日	平成 22年 12月 27日
電気伝導率	82.2 ms/m	90.5 ms/m
塩化物イオン濃度	54 ppm	4.5 ppm
水素イオン濃度		3.51 pH
生物化学的酸素要求量		1.6 ppm
化学的酸素要求量		6.5 ppm
浮遊物質		1未満 ppm
窒素含有量		0.1未満 ppm
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)
必要な措置を講じた日付けとその内容(異常が認められた場合記入すること)		

残余の埋立容量測定「規12条の7の3 7

計測日	残余容量(m³)
平成22年11月30日	1,075,589

施設の点検「規12条の7の3 7ロ、ハ、ヘ及びト」

擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理設備
点検日	平成 22年12月15日	平成 22年12月15日	平成 22年12月15日
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)
必要な措置が講じた年月日とその内容(異常が認められた場合のみ記入すること)			

※ 保有水等の導水管、浸出液処理設備の配管の防凍の為の対策について、当施設は標高1000mに位置している。その為、冬季の気温低下を考慮し埋設配管にて設置している。